

さくら



令和7年12月15日(月)

美しい生き方



日々の生活の中で、人の温かさに触れるたび、私の心も温かくなります。私のまわりには、仕事に対する姿勢にも、日々の生き方にも、誠実さや優しさがにじみ出ている人がたくさんいます。そのような人々の生き方に触れるたび、尊敬の念を抱くとともに、心からの敬意を感じるのです。

私が難問に頭を悩ませているとき、まるで自分自身に降りかかった出来事ように、ともに解決策を模索してくれる人がいます。「他人事」ではなく「自分事」として向き合ってくれるその姿勢に、感謝せずにはられません。

また、体調を崩していたとき、「無理をしないでください」「大丈夫ですか」と、気遣う言葉をかけてくれる人がいます。その言葉の一つひとつに、形だけではない相手を思う心が込められていることを感じ、とても嬉しく思うのです。

ところで、日本という国では、古来より道徳性を身につけることを美德としてきました。勤勉であること、正直であること、誠実であること、他者への優しさを持つことなど。これらの精神は、時代の流れとともに社会が変化しても、決して変わることはない価値観として受け継がれてきました。

日本が、世界から「治安が良く安全な国」と高く評価されている背景には、こうした一人ひとりの心の在り方が大きく関わっているのではないのでしょうか。

私たちは、先人から受け継いできたこの美德を、次の世代へ引き継いでいく必要があります。そのためには、美しい生き方を心がけ、それを実践することが大切です。このような一人ひとりの小さな心がけと実践の積み重ねこそが、誰もが安心・安全に生活できる社会の実現につながるのだと思います。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

